

マカフィー®セキュリティサービス ファイアウォール有効化マニュアル

1.概要

macOS Big Sur 対応版マカフィーは、インストール直後はファイアウォール機能が無効化されています。こちらの手順をご参考にファイアウォールを有効化することをお勧めします。

また、Big Sur のバージョンによっては、ファイアウォール有効化作業が最後まで完了しないことがあります。その際は、macOS を最新バージョンにアップデートしてから再度有効化手順をお試しください。

2.有効化方法

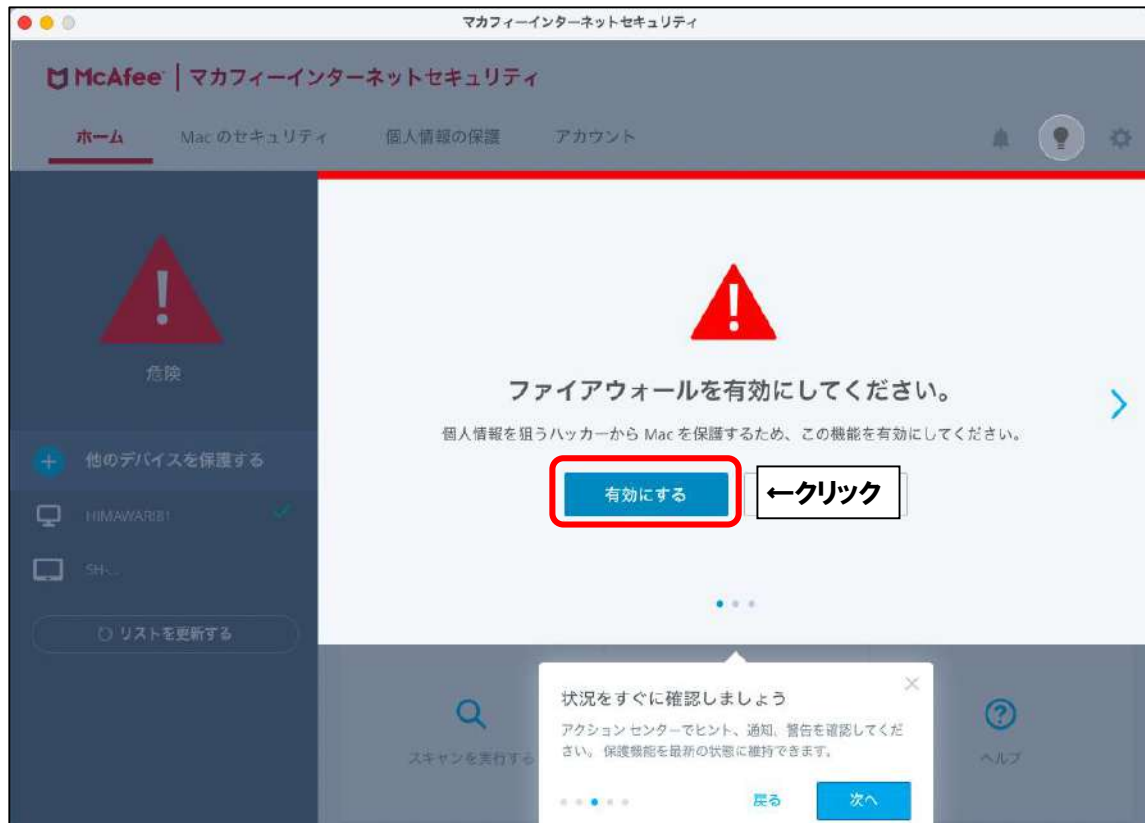
- 画面下部の Dock から「Finder」を起動し、「アプリケーション」を選択します。
- 次に、「マカフィーインターネットセキュリティ」を起動します。



- 「次へ」をクリックします。



- 「ファイアウォールを有効にしてください。」と表示されましたら、「有効にする」をクリックします。

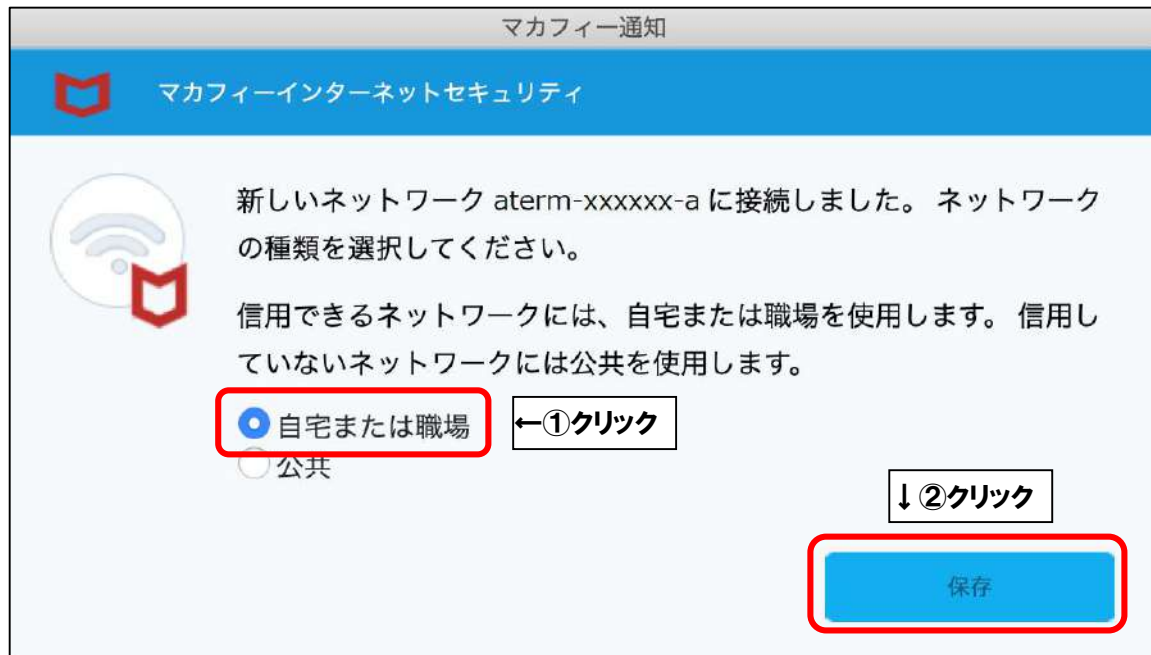


- 「許可」をクリックします。



■以下の画面が表示されることがございます。

「自宅または職場」を選択し、「保存」をクリックします。



■「アクセスを許可する」をクリックします。



※「アクセスを許可する」をクリックしても変わらない場合は、以下の手順を行ってください。

画面左上にある  マークをクリックし、アップルメニューを開きます。

次に、「システム環境設定...」をクリックします。



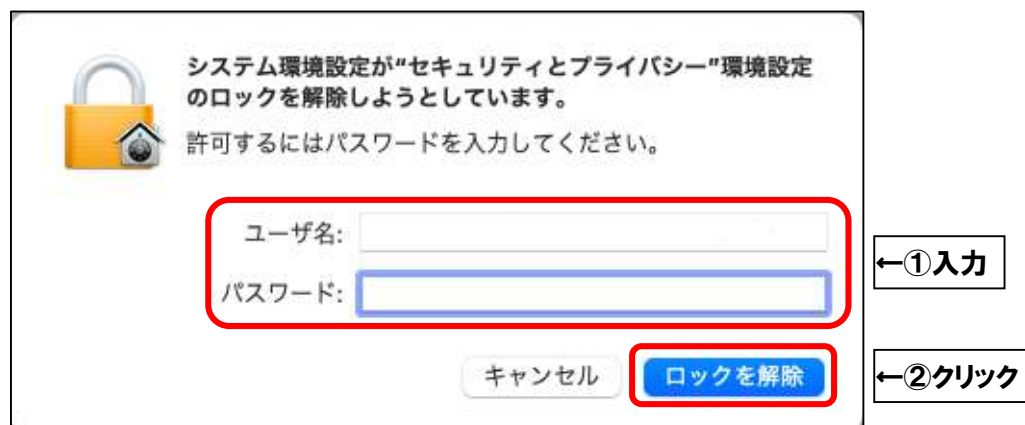
※「セキュリティとプライバシー」をクリックします。



- 「フルディスクアクセス」をクリックし、カギマークをクリックします。



- ご利用の Mac の管理者権限アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、「ロックを解除」をクリックします。



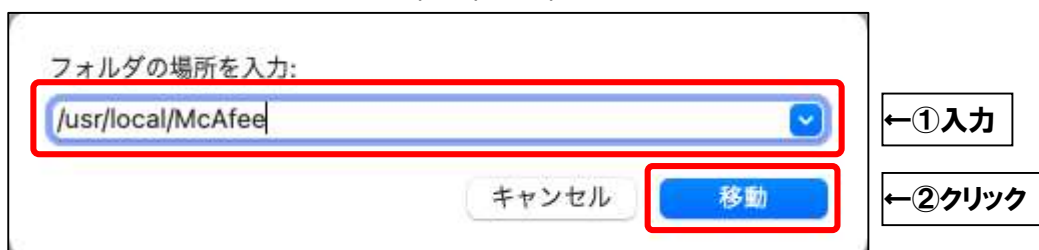
■枠内の項目に、以下の項目が含まれているか確認します。

含まれていない場合は「+」をクリックし、次ページからの手順を実行してください。

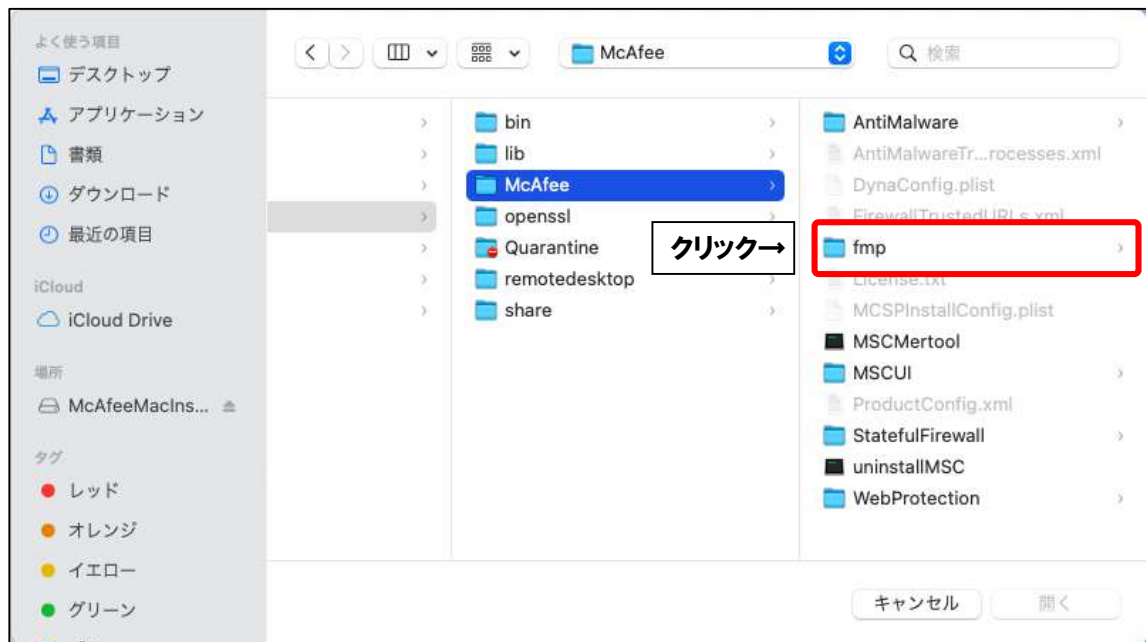


■キーボードの「Command」+「Shift」+「G」を同時押しします。

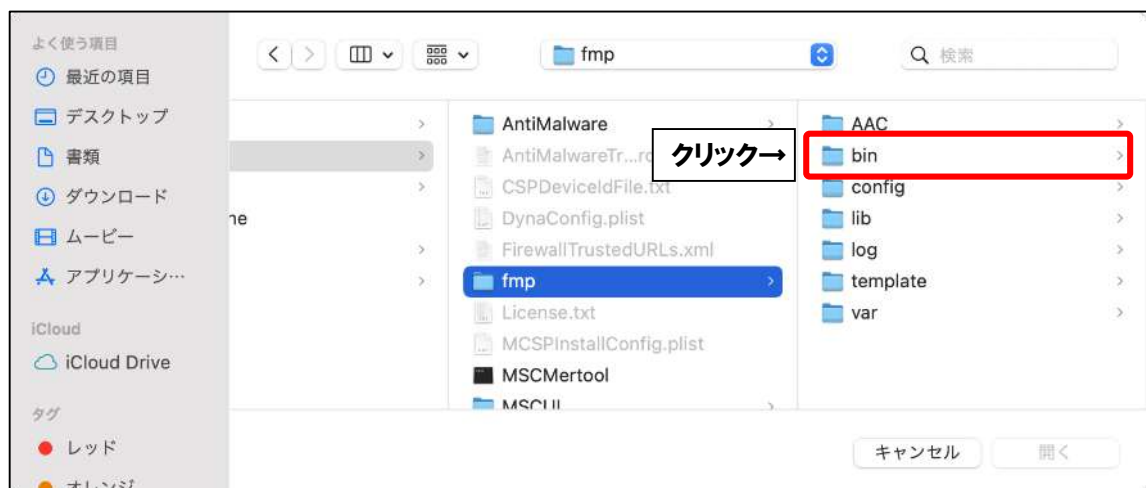
「フォルダの場所を入力:」欄に「/usr/local/McAfee」と入力し、「移動」をクリックします。



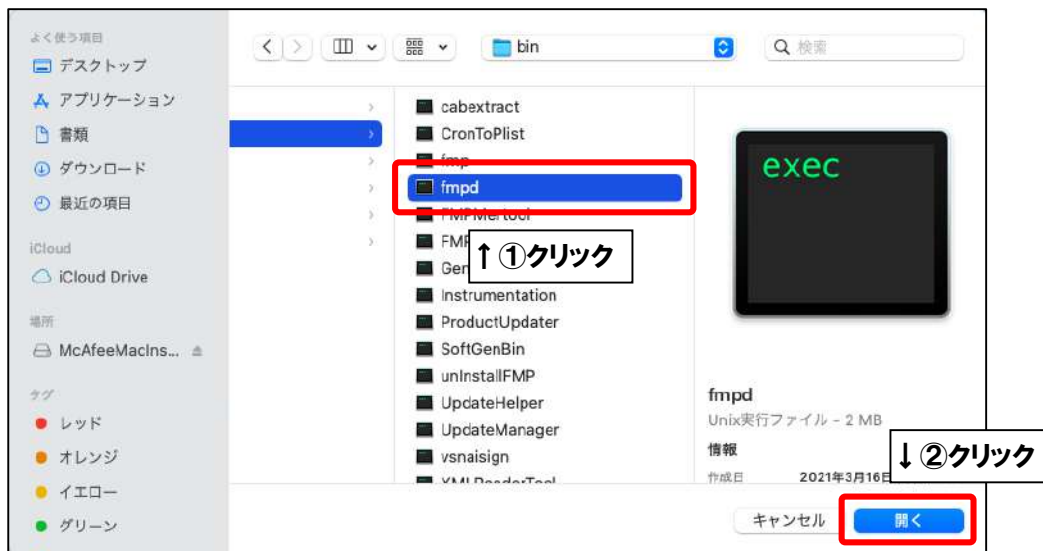
- 「fmp」 フォルダをクリックします。



- 「bin」 フォルダをクリックします。



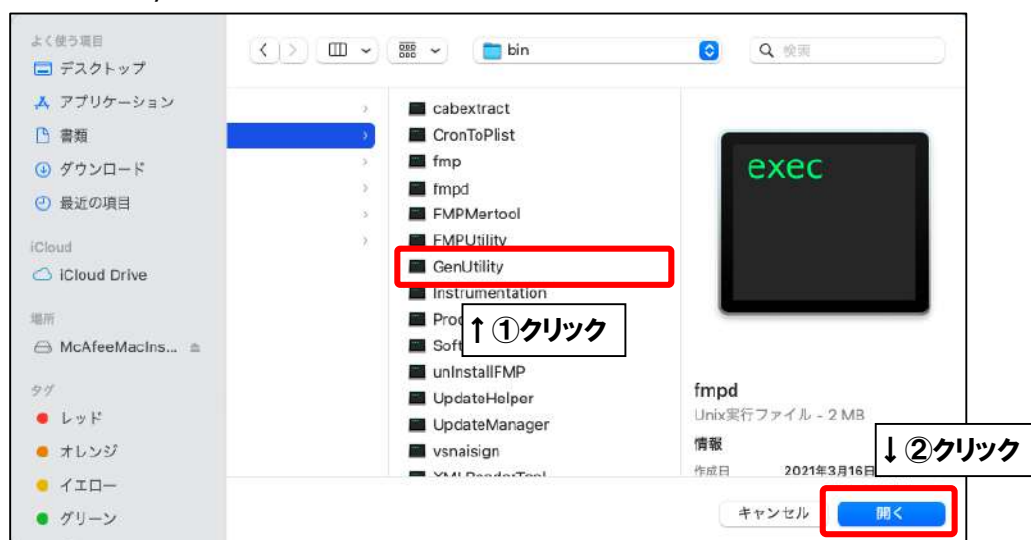
- 「fmpd」を選択し、「開く」をクリックします。



- 「fmpd」が追加されたことを確認し、「+」をクリックします。



- 「GenUtility」を選択し、「開く」をクリックします。



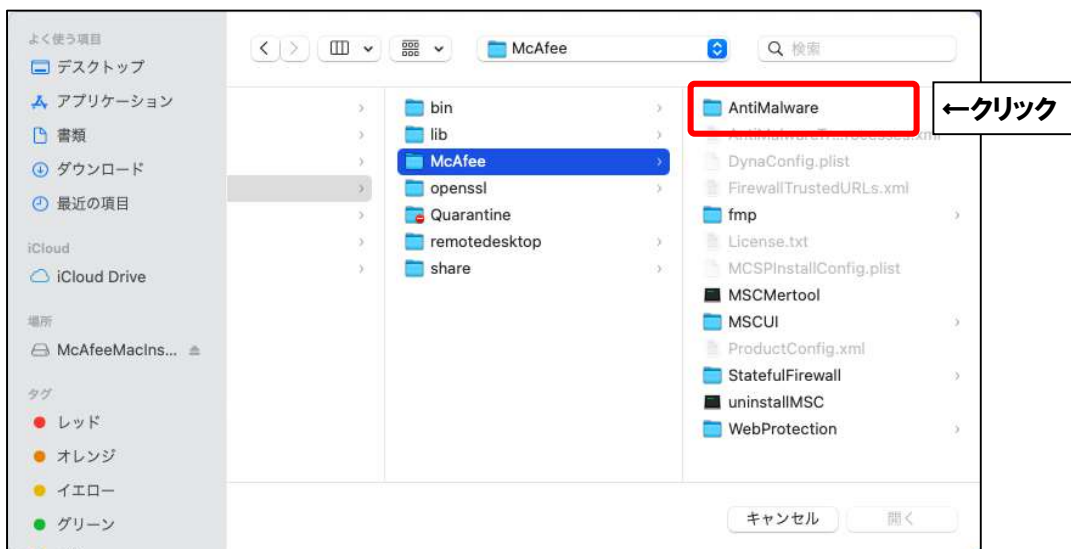
- 「GenUtility」が追加されたことを確認し、「+」をクリックします。



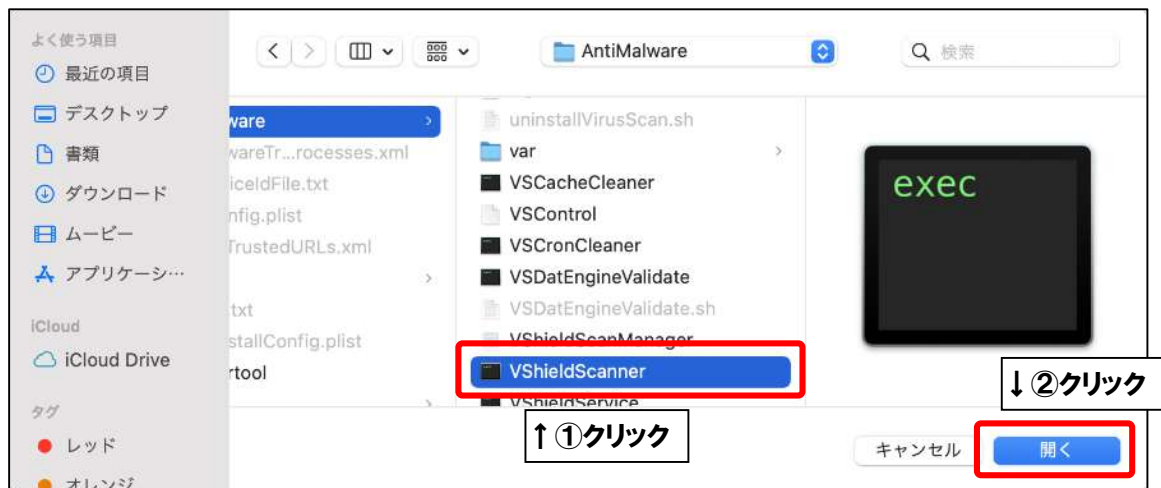
- 上部の「bin」と表示されたプルダウンメニューをクリックし、「McAfee」を選択します。



- 「AntiMalware」フォルダをクリックします。



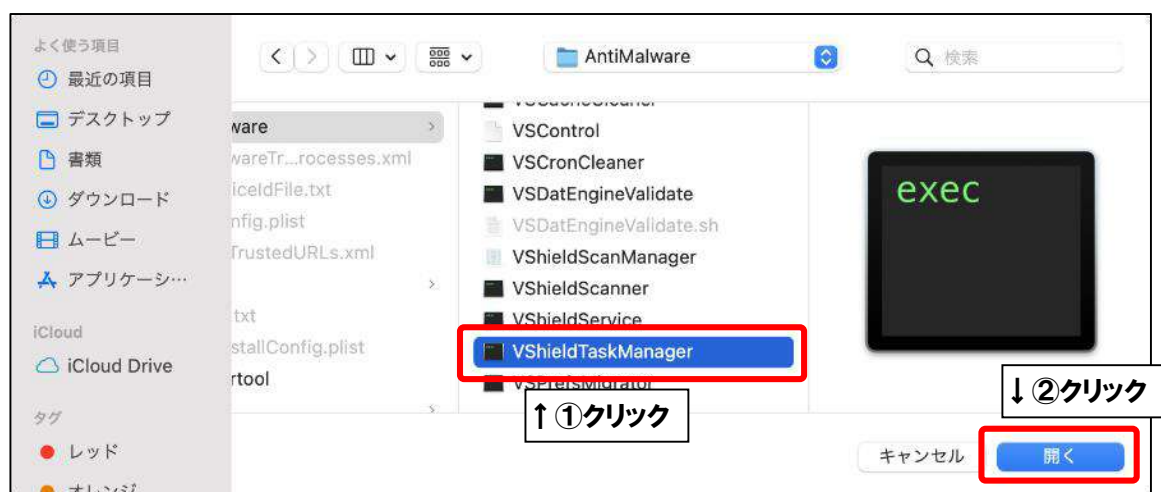
- 「VshieldScanner」を選択し、「開く」をクリックします。



- 「VshieldScanner」が追加されたことを確認し、「+」をクリックします。



- 「VshieldTaskManager」を選択し、「開く」をクリックします。



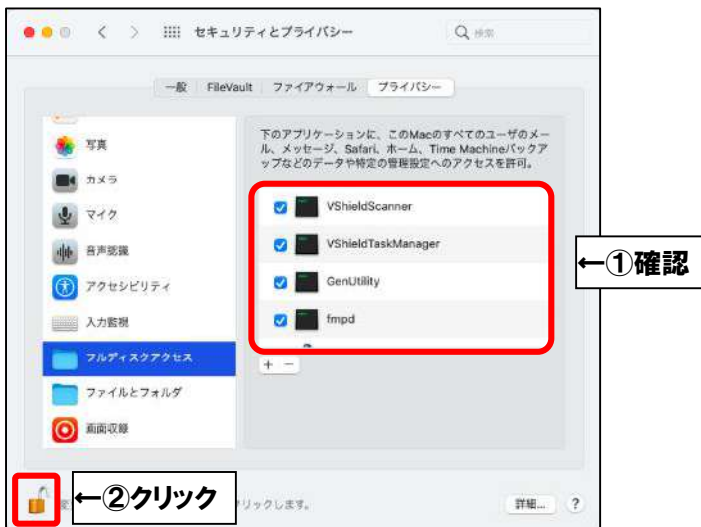
- 「VshieldTaskManager」が追加されたことを確認し、「+」をクリックします。



- 「VshieldScanManager」を選択し、「開く」をクリックします。



- 「fmpd」「GenUtility」「VshieldScanner」「VshieldTaskManager」「shieldScanManager」の5項目が追加され、全てチェックが入ったことを確認したら、カギマークをクリックします。カギがかかったことを確認したら、画面を閉じます。



- 「アクセスを許可する」をクリックします。



以上です。